

〔 横浜みなとみらいホール 〕  
平成 29 年度業務報告及び収支決算  
〔 公益財団法人横浜市芸術文化振興財団 〕

- ※ 文中の事業欄において、  
●：主催事業。○：共催事業  
を示します。
- ※ 文中の達成指標、達成状況欄において、  
□：定量的指標。■：定性的指標  
を示します。

1 施設の概要

施設名	横浜みなとみらいホール
所在地	横浜市西区みなとみらい2-3-6
構造・規模	鉄骨鉄筋コンクリート造 地下1階地上7階建て
敷地・延床面積	専有延べ床面積 18,688 m <sup>2</sup>
開館日	平成10年5月31日（大ホール）・2月1日（小ホール）

2 指定管理者

団体名	公益財団法人横浜市芸術文化振興財団
所在地	横浜市中区山下町2番地 産業貿易センタービル1階
代表者	理事長 澄川 喜一
設立年月日	平成3年7月10日
指定期間	平成24年4月1日から平成34年3月31日まで

3 指定管理に係る業務総括

(1) 基本的な方針の総括

“豊かな「音楽社会」を拓くコンサートホール”という基本方針のもと、平成29年度はソーシャル・インクルージョンを深める新たな事業にも取り組み、また計画的・戦略的な貸館営業と広報渉外活動をおこない、来場者・利用者が56万人以上となる成果を挙げるとともに、様々な連携もおこない、公共のコンサートホールとしての役割を發揮しました。次年度に向けて課題を検証し、現指定期間の最終期の目標のもと引き続きホール運営に取り組みます。

## (2) 29年度の業務の方針及び達成目標の総括

平成29年度は社会包摂の視点で新たな音楽事業に取り組むとともに、事業を通じた若手育成や人材育成、魅力ある公演の誘致地、地域連携や文化施設連携などに積極的に取り組みました。これにより、市民の文化活動の拠点として、また街と共にあるコンサートホールとして、観光やコンベンションにも貢献できる文化施設としてその存在感を高めることができました。事業企画の更なる精査、多彩な公演の誘致、安心快適な施設運営などに来年度も引き続き取り組みます。

### 【事業】

外部プロデューサーを招いて、クリエイティブ・インクルージョンをテーマとした新規事業に取り組みました。また、28年度より、外部専門家と共にスタートさせたシリーズを、ホール職員が引き継いでプロデュースした「みなとみらいクラシック・マチネ」は、横浜市招待国際ピアノ演奏会の過去出演者と、新進の演奏家を登用して、室内楽の多彩な魅力を気軽に楽しめる企画として多くの方にご来場いただきました。

「横浜芸術アクション事業」などで、重点課題となる次世代育成事業・社会包摂事業分野の企画を積極的に展開しつつ、2018年の開館20周年、2019年の音祭り、2020年のオリンピック・パラリンピック連携を見据えた事業計画を作成しました。

### 【施設運営】

クラシック音楽に留まらない多彩な音楽ジャンルへの貸し出しにも対応し、音楽を楽しむ層の拡大に努め、大・小ホールともに今年度も高い稼働率で運営を行いました。また、稼働率向上が課題であった、レセプションルームについては、今後の利用拡大につながるよう、施設の魅力を打ち出したパッケージプランの提供を開始しました。

### 【施設維持管理】

日常の施設維持管理業務を通じて老朽化の進む建物や施設の不具合について早期把握に努め、小破修繕の実施や横浜市への対処要望等、都度適切に対応しました。また、横浜市により平成29年度から31年度に渡って実施予定の大ホール舞台機構改修工事について、横浜市や施工業者と連携し初年度実施分について滞りなく実施しました。また、2020年度後半以降に予定される大規模改修工事（天井脱落対策工事）の実施に向けて、横浜市と調整・連絡を実施しました。

### 【広報】

専門誌はもとより一般紙や地域誌、新聞、放送、インターネットなど、さまざまな媒体へのアプローチをおこない、事業計画を上回る露出数を実現しました。また、次年度に向けて、開館20周年事業ラインナップのパンフレットを首都圏のコンサートホールで集中的に配布するなど新たな手法の広報もおこない、横浜みなとみらいホールの広報発信を向上させました。

## 4 経営についての達成状況

### (1) 施設機能の最大発揮と総合力ある経営について

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容と達成状況]
<p>(ア)組織内連携と経営強化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●各専門に応じた適正な人員配置</li> <li>●経営強化</li> </ul>	<p>(ア)組織内連携と経営強化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■専門性が発揮できる体制づくりにより、組織力強化を目指します。</li> <li>■収入向上につながる事業開発に着手します。</li> </ul>	<p>(ア)組織内連携と経営強化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■各専門性に応じた適切な人員配置により組織体制を強化しました。</li> <li>■小規模なコンサートや発表会にレセプションルームを気軽にご利用いただけるパッケージプランの提供を開始しました。</li> </ul>
<p>(イ)財団全体での総合力発揮</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●横浜市所管課、財団事務局や所管施設と密接に連携します。</li> </ul>	<p>(イ)財団全体での総合力発揮</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>□財団所管他施設との連携事業を実施</li> <li>2プロジェクト</li> </ul>	<p>(イ)財団全体での総合力発揮</p> <p>3プロジェクト実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>□6/14横浜美術館で音楽会（ファッション展連携）</li> <li>□1月～2月 横浜ダンスコレクション制作協力</li> <li>□10/22 みなとみらいSuper Big Band公演（市民ギャラリーあざみ野・ロビーコンサート）</li> </ul>
<p>(ウ)社会的協働・連携による取組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●教育機関・地元オーケストラ団体との協働・連携に取組み、音楽文化を通じた地域社会への貢献度を高めます。</li> </ul>	<p>(ウ)社会的協働・連携による取組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>□教育機関との協働・連携企画：2件</li> <li>□オーケストラ団体との協働・連携企画：2件</li> </ul>	<p>(ウ)社会的協働・連携による取組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>□教育機関との協働・連携企画：2件</li> <li>□オーケストラ団体との協働・連携企画 5件</li> <li>神奈川フィル公開リハーサル（4回）</li> <li>神奈川フィル指揮者トークイベント（1回）</li> </ul>

### (2) 地域の活性化及び都市の魅力づくりの達成について

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容と達成状況]
<p>(ア)「ホールのある街」戦略</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●地域住民へホールや事業のPRを行います。</li> <li>●MMccを活用し、集客や街のにぎわいに貢献します。</li> </ul>	<p>(ア)「ホールのある街」戦略</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>□近隣マンション自治会への協力・情報提供</li> <li>・マンション内に設置されたチラシラックへの配架 毎月1回</li> <li>□MMccの活用</li> <li>・世話人会への参加情報交換 毎月1回</li> </ul>	<p>(ア)「ホールのある街」戦略</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>□近隣マンション自治会への協力・情報提供</li> <li>・マンション内に設置されたチラシラックにチラシなどを配架（年5回）</li> <li>・「みなとみらい秋まつり」協賛とPR</li> <li>・地域住民も利用する駅や商業施設に事業広告を実施してホールをアピール（1回）</li> <li>□MMccの活用</li> <li>・MMcc世話人会に参加して情報交換（年5回）</li> <li>・公開リハーサルを実施（3回）</li> </ul>

<p>(イ)ビフォア・アフターコンベンション対応の充実 ●横浜市の政策に則り、MICE 利用を促進します。</p> <p>(ウ)文化施設連携事業の展開 ●他の文化施設それぞれの専門性を活かし相乗効果を狙った連携事業を実施します。 ●主催公演を中心に、来館者に向けて横浜トリエンナーレの情報を発信します。</p> <p>(エ)商業連携の推進 ●近隣商業施設との連携を強化し、地域全体でのにぎわいを創出します。</p> <p>(オ)当日参加可能事業の情報発信 ●ツイッター等を活用し常に新しい情報を発信</p> <p>(カ)パブリシティの強化 ※詳細は6-(3)「プロモーションの充実について」を参照</p>	<p>・ホールへ呼び込むプログラムの実施 年1回</p> <p>(イ)ビフォア・アフターコンベンション対応の充実 □MICE 利用 PR : 年2回</p> <p>(ウ)文化施設連携事業の展開 □他の文化施設との連携事業2</p> <p>(エ)商業連携の推進 □クイーンズスクエア等とのイベント協力 年2回 □近隣ホテル・商店舗とのイベント協力：2回</p> <p>(オ)ツイッターでの発信 □年間 200 ツイート、リツイート 600 回以上</p> <p>(カ)パブリシティの強化 ※詳細は6-(3)「プロモーションの充実について」を参照</p>	<p>(イ) ビフォア・アフターコンベンション対応の充実 □MICE利用実績 (年2回) □MICE利用PR (年4回) (パシフィコ横浜 (2回)・YCVB (1回)・国際MICEミーティング (1回))</p> <p>(ウ) 文化施設連携事業の展開 □他の文化施設との連携事業 ・横浜美術館との連携 (2回) 6/14グラウンドギャラリー (無料、324名) とレクチャーホール (219名) で開催 ・主催公演の当日プログラムノートに横浜トリエンナーレ情報を掲出</p> <p>(エ)商業連携の推進 □クイーンズスクエア等とのイベント協力 ・クイーンモールでストリートライブ実施 (年28回) ・クイーンズサークルでのスーパービッグバンドのライブ実施 (年2回) ・主催事業とタイアップした特別料理を近隣ホテルとプロデュース (1回)</p> <p>(オ)ツイッターでの発信 □年間212ツイート、978リツイート</p> <p>(カ)パブリシティの強化 ※詳細は6-(3)「プロモーションの充実について」を参照</p>
--	---	---

## 5 事業についての達成状況

### (1) 多様な鑑賞機会を提供し音楽文化の裾野を広げるための取り組み

<p>[目指す成果]</p> <p>世界レベルの質の高い芸術鑑賞公演、気軽に音楽を楽しめる公演、高齢者の方が出かけやすい平日昼の公演、こどもに音楽鑑賞の機会を提供する公演など、多様な鑑賞機会を創ります。いずれの公演においても、より大きな感動を提供できるよう音楽内容面の向上に継続的に取り組みます。ホールで開催される多数の公演の中でも特に注目される内容で主催事業を開催することにより、ホール全体の魅力を向上させ、利用率や来館者数の向上への効果の波及を目指します。</p> <p>[成果についての振り返り]</p> <p>多様化している音楽鑑賞へのニーズに応えられる、高品質で幅広いラインナップの公演を開催しました。国内外のトップレベルのオーケストラの公演は、いずれも充実した内容でアンケート等でも高い評価を得られましたが、広報・販促の展開がチケットの購入行動に直結するものとならず、想定していた成果が得られず、目標としていた入場者数には届きませんでした。</p> <p>室内楽のジャンルの幅広さと低廉な料金設定で、平日昼開催のクラシック・マチネでは、通年チケットが好調だったこともあり、目標を大きく上回るご来場をいただきました。また、クラシック音楽以外のジャンルの企画や、低料金で鑑賞しやすさに配慮した時間帯に設定した企画も好調でホールにコアなクラシックファンから普段は音楽への興味関心が低い層まで幅広く多数の人が来場することで、鑑賞者層の裾野の拡大と地域の賑わいづくりにも貢献しました。</p>		
<p>[取組内容]</p> <p>(ア)オーケストラ事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●プロムシュテット指揮ライプツィヒ・ゲヴァントハウス管弦楽団</li> <li>●フリック・シヨルダン指揮ウィーン交響楽団</li> <li>●シャルル・デュトワ指揮NHK交響楽団</li> <li>●ジルヴェスター・コンサート</li> </ul> <p>(イ)室内楽事業</p> <p>本年度で36年目を迎える横浜市招待国際ピアノ演奏会の過去の出演者を中心に編成された室内楽のシリーズコンサートとしてクラシック・マチネを実施</p>	<p>[達成指標]</p> <p>(ア)オーケストラ事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/>顧客満足度 80%</li> <li><input type="checkbox"/>合計入場者数 5,800人</li> </ul> <p>(イ)室内楽事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/>公演回数 1日2回公演 計6日間12公演</li> <li><input type="checkbox"/>顧客満足度 80%</li> <li><input type="checkbox"/>合計入場者数 4,000人</li> </ul>	<p>[実施内容と達成状況]</p> <p>(ア)オーケストラ事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/>顧客満足度 90.4%</li> <li><input type="checkbox"/>合計入場者数 5,585人</li> <li>●プロムシュテット指揮ライプツィヒ・ゲヴァントハウス管弦楽団 1,311人</li> <li>●フリック・シヨルダン指揮ウィーン交響楽団 1,729人</li> <li>●シャルル・デュトワ指揮 NHK交響楽団 1,045人</li> <li>●ジルヴェスター・コンサート 1,500人</li> </ul> <p>(イ)室内楽事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/>公演回数 1日2回公演 計6日間12公演</li> <li><input type="checkbox"/>顧客満足度 89.6%</li> <li><input type="checkbox"/>合計入場者数 6,412人</li> </ul>

<p>(ウ)多様な音楽ジャンルの事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●こどもの日コンサート</li> <li>●ヤング・アメリカンズ・ショー</li> <li>●デーモン閣下の邦楽維新 Collaboration</li> </ul> <p>(エ)低料金・無料コンサート（これからの鑑賞者育成のため入門用事業として定期的に開催）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●オルガン1ドルコンサート（クリスマス含む）</li> <li>●みんな集まれ！おんがくひろば</li> <li>●心の教育ふれあいコンサート</li> </ul>	<p>(ウ)多様な音楽ジャンルの事業</p> <p>□顧客満足度 80%</p> <p>□合計入場者数 4,000人</p> <p>(エ)低料金・無料コンサート</p> <p>□顧客満足度 80%</p> <p>□合計入場者数 40,000人</p>	<p>(ウ)多様な音楽ジャンルの事業</p> <p>□顧客満足度 94.6%</p> <p>□合計入場者数 4,314人</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●こどもの日コンサート 2,397人</li> <li>●ヤング・アメリカンズ・ショー 1,090人</li> <li>●デーモン閣下の邦楽維新 Collaboration 827人</li> </ul> <p>(エ)低料金・無料コンサート</p> <p>□顧客満足度 91.6%</p> <p>□合計入場者数 49,986人</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●オルガン1ドルコンサート（クリスマス含む） 15,917人</li> <li>●みんな集まれ！おんがくひろば（予定していた企業協賛金が得られなかったため未実施）</li> <li>●心の教育ふれあいコンサート 34,069人</li> </ul>
--	---	---

(2) 新たな音楽文化を提案する、優れた創造・創作の拠点を形成するための取り組み

<p>[目指す成果]</p> <p>ア 独自性の高い事業を企画開催し、横浜みなとみらいホールを新たな音楽の創造の場・創作拠点として機能させ、アーティスト育成や観客層の拡大など音楽芸術文化の発展に貢献します。音楽の専門家やコアなファン層から注目されることによりホールのステイタス向上を促し、結果として幅広い観客の獲得に繋がります。</p> <p>イ 横浜音楽祭2016の成果を踏まえ、継続的に横浜芸術アクション事業を実施します。海外の一流のオーケストラ公演の誘致や、若手アーティストの発掘、育成を目的とした事業などを展開し、都市の魅力向上への貢献や次世代育成などの音楽専門施設としての役割を担います。</p> <p>[成果についての振り返り]</p> <p>小ホールオペラでは、小ホールの構造を活かした演出と、クイーンズスクエア内のアパレルブランドと連携したカジュアルな衣装を取り入れ、ホールならではの魅力と、気軽に楽しめる雰囲気を出した公演となりました。Just Composedは、認知度が高い出演者とバンドネオンという楽器への興味から、集客の難しい現代音楽ジャンルでは珍しい満席となり大変に盛り上がりました。ミシェル・ブヴァール・オルガンリサイタルは、演奏と指導の両面で国際的に活躍するオルガニストの企画として、オルガンファン・関係者から注目された公演となりました。</p> <p>横浜芸術アクション事業は、横浜の文化芸術都市としてのブランド力の向上や賑わいの創出、次世代の鑑賞者・演奏者の育成という目的に向けて、音楽専門ホールならではの良質で幅広い対象に向けた事業を複数実施することで寄与しました。</p>
--

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容と達成状況]
<p>ア 独自性の高い事業 (ア)横浜みなとみらいホール独自の 小ホールオペラシリーズ の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●「ラ・ボエーム」</li> </ul> <p>(イ)現代作曲家シリーズ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●若手作曲家を起用した「Just Composed2018」</li> </ul> <p>(ウ)オルガン・シリーズ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●ミシェル・ブヴァール・オルガンリサイタル</li> <li>●オルガンツアー (他施設連携事業の実施)</li> </ul>	<p>ア 独自性の高い事業 (ア)小ホールオペラ</p> <p><input type="checkbox"/>顧客満足度 80%</p> <p><input type="checkbox"/>入場者数 600人</p> <p>(イ)現代作曲家シリーズ</p> <p><input type="checkbox"/>入場者数 200人</p> <p>(ウ)オルガン・シリーズ</p> <p><input type="checkbox"/>入場者数 700人</p> <p><input type="checkbox"/>他都市連携事業 1回</p>	<p>ア 独自性の高い事業 (ア)小ホールオペラ</p> <p><input type="checkbox"/>顧客満足度 91.4%</p> <p><input type="checkbox"/>「ラ・ボエーム」入場者数 650人</p> <p>(イ)現代作曲家シリーズ</p> <p><input type="checkbox"/>「Just Composed2018」入場者数 412人</p> <p>(ウ)オルガン・シリーズ</p> <p><input type="checkbox"/>入場者数 897人</p> <p><input type="checkbox"/>他都市連携事業 1回</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●ミシェル・ブヴァール・オルガンリサイタル 859人</li> <li>●オルガンツアー 38人 (ミューザ川崎、神奈川県民ホールと連携)</li> </ul>
<p>イ 横浜芸術アクション事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●ブ`ロムシュテット指揮ライブ`ツイヒ・ゲヴァントハウス管弦楽団</li> <li>●フリッポ・シ`ョルダン指揮ウィーン交響楽団</li> <li>●デーモン閣下の邦楽維新 Collaboration</li> <li>●金の卵見つけました</li> <li>●こどもの日コンサート</li> <li>●心の教育ふれあいコンサート</li> </ul>	<p>イ 横浜芸術アクション事業</p> <p><input type="checkbox"/>顧客満足度 80%</p> <p><input type="checkbox"/>合計入場者数 35,700人</p>	<p>イ 横浜芸術アクション事業</p> <p><input type="checkbox"/>顧客満足度 93.7%</p> <p><input type="checkbox"/>合計入場者数 39,682人</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●こどもの日コンサート2017 2,397人</li> <li>●金の卵見つけました 654人</li> <li>●心の教育ふれあいコンサート 34,069人</li> <li>●発達障がい支援ワークショップ I N横浜「音と光の動物園」 35人</li> <li>●ヘルベルト・ブロムシュテット指揮 ライプツイヒ・ゲヴァントハウス管弦楽団 1,311人</li> <li>●ミュージック・イン・ザ・ダーク～障がいとアーツ in 横浜～ 406人</li> <li>●石田泰尚×津田裕也ベートーヴェン ヴァイオリン・ソナタ全曲演奏会 810人</li> </ul>

(3) 次代を担う芸術家、音楽と市民をつなぐ人材を育み、活動の機会を提供するための取り組み

<p>[目指す成果]</p> <p>ア 若手音楽家を鑑賞事業への出演や体験型事業の講師として起用することにより、芸術家の育成や支援の拠点機能を発揮します。音楽文化の普及啓発を担う人材としての成長も促します。</p> <p>イ 市民が鑑賞以外のさまざまな形で音楽文化と積極的に関わる環境を提供します。市民の方々が芸術家や音楽と市民をつなぐ「コーディネーター」となり活躍する土壌を作ります。</p> <p>[成果についての振り返り]</p> <p>小ホールオペラ、クラシック・マチネ、1ドルコンサートなどで若手音楽家を積極的に登用し、本人に研鑽と実践の機会を提供しました。また、Super Big Bandの育成活動では、28年度の札幌に続いての金沢遠征では他地域の同世代のプレイヤーとの交流や普段と異なる環境での指導を受けメンバーへの良い刺激を受け、国内のトップアーティストである熱帯JAZZ楽団と有料ステージでの共演など活動の質と範囲が向上しています。その他も子ども向け事情の開催等もあわせて、地域の音楽文化の中核拠点として次世代育成の機能を果たしました。</p> <p>芸術家や音楽と市民を繋ぐ活動を行うNPO法人や、専門的な機能や能力を有する組織・学校等と連携して事業を展開することで、より広い範囲の方に参加・体験していただける環境を整えました。</p>		
<p>[取組内容]</p> <p>ア 若い音楽家の育成や支援</p> <p>(ア)演奏会への出演</p> <p>●小ホールオペラや「みなとみらいクラシック・マチネ」「みんな集まれ！」等への積極的な登用</p> <p>(イ)現代の作曲家育成</p> <p>●Just Composed 開催</p> <p>●関連プレトーク開催</p> <p>(ウ)一流奏者の指導を少年期から体験させる</p> <p>●「みなとみらい Super Big Band」</p> <p>●「オルガン体験弾いてみよう」</p> <p>●「金の卵探しています」</p> <p>(エ)オルガニスト育成</p> <p>●オルガニスト・インターンの育成</p>	<p>[達成指標]</p> <p>ア 若い音楽家の育成や支援</p> <p>(ア) 演奏会への出演</p> <p>□若手歌手・演奏家登用 10人</p> <p>(イ) 現代の作曲家育成</p> <p>□若手作曲家 1名の登用</p> <p>(ウ)一流奏者の指導を少年期から体験させる</p> <p>□「みなとみらい Super Big Band」 20人参加</p> <p>□「オルガン体験弾いてみよう」 40人参加</p> <p>□「金の卵探しています」 30人申し込み</p> <p>(エ)オルガニスト育成</p> <p>□1年をかけて1名の育成</p>	<p>[実施内容と達成状況]</p> <p>ア 若い音楽家の育成や支援</p> <p>(ア) 演奏会への出演</p> <p>□若手歌手・演奏家登用 10人</p> <p>(イ) 現代の作曲家育成</p> <p>□若手作曲家 1名(藪田翔一)の登用</p> <p>(ウ)一流奏者の指導を少年期から体験させる</p> <p>□「みなとみらいSuper Big Band」 38人参加</p> <p>□「オルガン体験弾いてみよう」 68人参加</p> <p>□「金の卵探しています」 46人申し込み</p> <p>(エ)オルガニスト育成</p> <p>□1名(澤菜摘)をインターンに採用し、育成</p>



<p>(オ)ピアニスト育成</p> <p>●第36回横浜市招待国際ピアノ演奏会の開催</p> <p>イ 芸術家や音楽と市民をつなぐ人材の育成</p> <p>(ア)音楽大学やNPO法人、地域企業等との連携による事業</p>	<p>(オ)ピアニスト育成</p> <p>□若手ピアニスト4名の起用</p> <p>イ 芸術家や音楽と市民をつなぐ人材の育成</p> <p>(ア)音楽大学・NPO・企業との連携事業</p> <p>□提携事業 5事業</p>	<p>(オ)ピアニスト育成</p> <p>□若手ピアニスト4名を起用して開催</p> <p>イ 芸術家や音楽と市民をつなぐ人材の育成</p> <p>(ア)音楽大学・NPO・企業との連携事業</p> <p>□提携事業 6事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第9回国際シニア合唱祭 (共催:NPO法人ゴールドンウェーブ)</li> <li>・第34回ハマのJACK演奏会 金の卵見つけました、夏休み子ども企画 (共催:NPO法人ハマのJACK)</li> <li>・おやこオペラ教室 (協力:NPO法人横浜シティオペラ)</li> <li>・ヤングアメリカンズ・ジャパントツアー 2017 (共催:NPO法人じぶん未来クラブ)</li> <li>・発達障がい支援ワークショップIN横浜「音と光の動物園」 (共催:東京藝術大学COI拠点 公益財団法人ベネッセこども基金 NPO法人ADDS)</li> <li>・ミュージック・イン・ザ・ダーク (共催:東京藝術大学COI拠点)</li> </ul>
--	---	---

(4) 未来を担う子どもたちに音楽を知り、学び、体験する機会を提供するための取り組み

<p>[目指す成果]</p> <p>こどもを対象とした鑑賞事業や体験事業を施設内外で実施します。障がいのあるこどもを対象とした事業にも取り組みます。次代の市民生活をより豊かにするため音楽文化醸成をはかるとともに、音楽体験を通してこどもの創造性、表現力、豊かな感性を育成します。</p> <p>[成果についての振り返り]</p> <p>夏休みの事業を始めとする、定例のこども対象とした各企画は、内容や広報の手法等を随時修正・改良しながら取り組み、多数の入場者・参加者を集めることができました。</p> <p>また、計画立案の時点では予定していなかった、発達障がいの児童を対象とした「音と光の動物園」や、世界のトップオーケストラであるゲヴァントハウス管弦楽団メンバーによる学生向けの指導の場を設けるなど、多数の次世代育成企画を実施しました。</p>
--

<p>[取組内容]</p> <p>(ア)夏休みに時期をあわせたこども対象事業の実施</p> <p>●夏休みこども事業 8月に3日間開催</p> <p>(イ)こどもを対象とした鑑賞事業の開催</p> <p>●心の教育ふれあいコンサート ●0歳からのオルガンコンサート ●こどもの日コンサート</p> <p>(ウ)障がいのある子どもを対象とするオルガンワークショップの実施</p> <p>●盲特別支援学校との提携事業</p>	<p>[達成指標]</p> <p>(ア)夏休みこども対象事業</p> <p><input type="checkbox"/>入場者数 3,000人 <input type="checkbox"/>顧客満足度 80%</p> <p>(イ)こどもを対象とした鑑賞事業の開催</p> <p><input type="checkbox"/>入場者数 34,600人</p> <p>(ウ)障がいのある子ども向け事業</p> <p><input type="checkbox"/>年間2回開催</p>	<p>[実施内容と達成状況]</p> <p>(ア)夏休みこども対象事業</p> <p><input type="checkbox"/>入場者数 5,448人 <input type="checkbox"/>顧客満足度 92.6%</p> <p>(イ)こどもを対象とした鑑賞事業の開催</p> <p><input type="checkbox"/>入場者数 39,033人 ●心の教育ふれあいコンサート 34,069人 ●0歳からのオルガンコンサート 2,567人 ●こどもの日コンサート 2,397人</p> <p>(ウ)障がいのある子ども向け事業</p> <p><input type="checkbox"/>年間2回開催 ●盲特別支援学校との提携事業 (6/21 中学部、7/5 小学部) ●発達障がい支援ワークショップ「音と光の動物園」</p>
--	--	---

(5) 音楽文化の持つ可能性、文化芸術の持つ社会的な力を活かし、地域社会に貢献する取り組み

<p>[目指す成果]</p> <p>音楽文化の持つ力を活かしアウトリーチ事業を実施します。地域コミュニティに活力をもたらす事業や、街の賑わい創りに貢献する事業、ホールにお越しいただくことが難しい方々に音楽の魅力を直接伝える事業などに取り組みます。また施設内で実施する事業では音楽の視点から街に対する興味を喚起します。</p> <p>[成果についての振り返り]</p> <p>小学校へのアウトリーチは、クラシック・邦楽・打楽器・合唱など多彩なジャンルのプログラムを提供するとともに、横浜芸術アクション事業とも連携して、音楽を聴くことや演奏することの楽しさを実感する貴重な経験を提供しました。</p> <p>近隣商業施設との協働によるアウトリーチプログラムでは、音楽芸術を通して街のにぎわいづくりに寄与しました。</p> <p>レクチャーコンサート・レクチャーは、公演企画とも連動した内容で、参加者の興味をより一層惹き付ける企画となりました。</p>		
<p>[取組内容]</p> <p>(ア)小学校におけるアウトリーチ事業への取り組み</p>	<p>[達成指標]</p> <p>(ア)アウトリーチ事業</p> <p><input type="checkbox"/>3校</p>	<p>[実施内容と達成状況]</p> <p>(ア)アウトリーチ事業</p> <p><input type="checkbox"/>5校 10/12、19、26 白根小学校</p>

<p>(イ)市内の商業施設や公共スペース等でのアウトリーチ事業開催</p> <p>(ウ)レクチャーコンサートの開催</p>	<p>(イ)市内の商業施設等でのアウトリーチ事業</p> <p><input type="checkbox"/>年間2回以上開催</p> <p>(ウ)レクチャーコンサート</p> <p><input type="checkbox"/>総入場者数 120人</p> <p><input type="checkbox"/>2回開催</p> <p><input type="checkbox"/>その他レクチャー等 2回開催</p>	<p>11/24、25、27 八景小学校</p> <p>12/13 茅ヶ崎台小学校</p> <p>1/15 善部小学校、1/17 二つ橋小学校</p> <p>(イ)市内の商業施設等でのアウトリーチ事業</p> <p><input type="checkbox"/>年間28回開催 (クイーンモールで演奏27回、クリスマスツリー点灯式演奏1回)</p> <p>(ウ)レクチャーコンサート</p> <p><input type="checkbox"/>総入場者数 316人</p> <p><input type="checkbox"/>8回開催</p> <p><input type="checkbox"/>その他レクチャー等 2回開催</p> <p>・「白石美雪による公演の楽しみ方」 (Just Composed 2018 in Yokohama 関連企画)</p> <p>・古屋晋一 特別レクチャー ピアニストの心技体 (横浜市招待国際ピアノ演奏会関連企画)</p>
---	---	--

(6) ホールに蓄積された音楽情報やネットワーク、ノウハウを活かした市民の音楽活動支援

<p>[目指す成果]</p> <p>ア 主催公演の記録化、ホール公演情報の整理</p> <p>主催公演の写真・映像・音声を記録します。記録の一部はホールのプロモーションも兼ねて、施設内やインターネットで公開し、ホールの集客につなげます。施設の貴重な記録として管理し主催事業の立案等にも活用します。</p> <p>イ 市民の音楽活動支援</p> <p>芸術家や諸機関とのネットワーク、主催公演での経験等を活かし、協力公演や貸館公演などホールに利用者が訪れるさまざまな場面で、コンサートの開催に関わる支援を行います。また音楽大学学生のインターンや一般学生の職業体験を幅広く受け入れ、ホールでの経験が施設外にも波及して役立つよう努め、地域の主要な音楽専門施設として施設内にとどまらない役割を担います。</p> <p>[成果についての振り返り]</p> <p>主催公演の企画・立案に、将来的な宣伝素材として活用できるように、主催公演の映像等を記録継続しました。今年度の小ホールオペラシリーズでも、販売促進のプロモーションとして、シリーズの過去の公演のダイジェスト映像をwebサイトに掲載するとともに、公演実施後には、公演の様子を紹介する映像を掲載し企画のPRに活用しました。</p>		
<p>[取組内容]</p> <p>ア 公演情報の記録と整理</p>	<p>[達成指標]</p> <p>ア 公演情報の記録と整理</p> <p>○主催公演の記録</p>	<p>[実施内容と達成状況]</p> <p>ア 公演情報の記録と整理</p> <p>○主催公演のモニター画像を録画保存</p> <p>○広報販促用のプロモーションとして、過去の公演</p>

<p>イ コーディネーター機能</p>	<p>イ コーディネーター機能 □音楽大学学生のインターン受け入れ1件</p>	<p>映像等を活用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小ホールオペラシリーズ（シリーズの過去の公演映像と、今回公演の紹介動画をwebサイトに掲載）</li> <li>・ライブツイヒ・ゲヴァントハウス管弦楽団（指揮者のプロムシュテットのメッセージ動画をwebサイトで配信）</li> </ul> <p>イ コーディネーター機能 □「横浜市盲特別支援学校オルガンワークショップ」のボランティアとして音大生を受け入れ1件</p>
---------------------	---	--

## 6 運営についての達成状況

(1) 利用者ニーズや利便性に考慮し、柔軟に対応して施設機能を最大限に発揮するための取り組み

<p>[取組内容]</p> <p>ア 市民の創作活動・発表の場として広く認知</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●地元オーケストラ団体との連携によるレセプションルーム活用事業</li> <li>●レセプションルームの利用PR</li> </ul> <p>イ 音楽を楽しむ層の拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●企業等のコンベンションや顧客向けコンサート等にも施設を提供することで、新たにコンサートホールに足を運ぶ層を獲得します。</li> <li>●クラシック音楽にとどまらず、ジャズやポップスなど、多様なジャンルの音楽利用を柔軟に受け入れ、幅広い客層がホールへ足を運ぶ機会をつくります。</li> </ul>	<p>[達成指標]</p> <p>ア 市民の創作活動・発表の場として広く認知</p> <p>□連携事業：年1回</p> <p>□レセプションルームPR：年2回</p> <p>イ 音楽を楽しむ層の拡大</p> <p>□年2件</p> <p>■横濱ジャズプロムナードなど、クラシック音楽以外の利用にも柔軟に対応した運営を行います。</p>	<p>[実施内容と達成状況]</p> <p>ア 市民の創作活動・発表の場として広く認知</p> <p>□連携事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「試聴ラウンジ」(1/13)</li> </ul> <p>□レセプションルームPR</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・パシフィコ横浜と横浜観光コンベンションビューローへの説明会実施（年2回）</li> </ul> <p>イ 音楽を楽しむ層の拡大</p> <p>□アフターコンベンションでのコンサート・顧客向けコンサート：年6件（アフターコンベンション2件、顧客向けコンサート4件実施）</p> <p>■日本コダーイ協会全国大会に協力し、最終日のコンサートを実施</p> <p>■横浜吹奏楽コンクール（5日間）や横濱ジャズプロムナード（2日間）等では、例年より利用日数が多くなり、多くの幅広い層の方をお迎えしたほか、利用内容にも柔軟に対応しました。</p>
--	---	---

<p>ウ 質の高いサービスを安定的に提供</p> <p>●レセプションист研修の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新採用時研修</li> <li>・フォローアップ研修</li> <li>・チーフ研修</li> <li>・コーチャー研修</li> <li>・全体研修</li> <li>・避難訓練</li> </ul>	<p>ウ 質の高いサービスを安定的に提供</p> <p>□レセプションист研修</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・採用時2日間、その後2回に分けて実施</li> <li>・採用6か月後1回</li> <li>・年1回</li> <li>・年1回</li> <li>・年1回</li> <li>・年2回</li> </ul>	<p>ウ 質の高いサービスを安定的に提供</p> <p>■新人研修は計画を若干変更し、採用時3日間、その後フォローアップとして2回の研修を行いました。特に全体研修では、民間企業で様々なお客様対応をされてきた方にお話を聴く機会を設け、サービスを提供することの視野を広げることができました。</p>
---	---	---

(2) 日本を代表するとともに、市民にとって身近で愛されるコンサートホールとしてのサービスとホスピタリティを提供するための取り組み

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容と達成状況]
<p>ア 利用促進</p> <p>●近隣企業等にも利用促進をはかります。</p> <p>●利用率</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>大ホール</li> <li>小ホール</li> <li>リハーサル室</li> <li>レセプションルーム</li> <li>音楽練習室</li> </ul> <p>イ 満足度の高い運営</p> <p>●レセプションист・マネージャーミーティングの実施</p> <p>ウ 施設見学</p> <p>●通常のホール利用下見対応</p>	<p>ア 利用促進</p> <p>□近隣企業の顧客向けコンサート：年2件</p> <p>□利用率</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>*94% (H27実績 96%)</li> <li>*97% (H27実績 99%)</li> <li>*65% (H27実績 58%)</li> <li>* 30% (H27実績 28%)</li> <li>* 76% (H27実績 82%)</li> </ul> <p>イ 満足度の高い運営</p> <p>□年10回</p> <p>■レセプションист研修や、マネージャーミーティングを通して、対応の統一化、平準化を図り、丁寧であたたかいサービスを提供します。</p> <p>ウ 施設見学</p> <p>□年間100件</p>	<p>ア 利用促進</p> <p>□顧客向けコンサート：年4件実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自動車会社主催：12/12、12/18、12/19</li> <li>・新聞社主催：1/22</li> </ul> <p>□利用率</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>*大ホール96%</li> <li>*小ホール100%</li> <li>*リハーサル室70%</li> <li>*レセプションルーム36%</li> <li>*音楽練習室83%</li> </ul> <p>イ 満足度の高い運営</p> <p>□年12回</p> <p>■レセプションист研修、マネージャーミーティングの場を有効に活用し、業務・対応確認等を行い、より質の高いサービスの提供につなげました。</p> <p>ウ 施設見学</p> <p>□利用下見：年104件</p> <p>□視察・施設見学・撮影下見：17件</p>

<p>エ 物販</p> <p>●ホールと横浜の魅力を発信する物販に取り組みます。</p> <p>オ 問合せ相談・チケットセンター窓口</p> <p>●業務の基準に従い適切に実施します。</p> <p>カ ドリンクコーナー</p> <p>大ホール・小ホールホワイエに設置されているドリンクコーナーにおいて主催者の求めに応じ公演開催時に飲料等の飲食サービスを提供できる体制を用意します。</p> <p>キ 託児サービス</p> <p>●HP 等を活用した託児サービスの周知</p>	<p>エ 物販</p> <p>□オリジナルグッズの販売：通年</p> <p>□横浜をPRする物販イベント実施：6回</p> <p>オ 問合せ相談・チケットセンター窓口</p> <p>■丁寧で正確な対応を実施します。</p> <p>カ ドリンクコーナー</p> <p>■業務の基準に従い適切に実施します。</p> <p>□横浜ベイホテル東急との意見交換 年2回</p> <p>キ 託児サービス</p> <p>□年2回以上</p>	<p>エ 物販</p> <p>□オリジナルグッズ販売ではなく、ホールのノベルティとして広報活用</p> <p>□横浜をPRする物販イベント実施</p> <p>・「オルガン1ドルプラス」として実施（6回）</p> <p>オ 問合せ相談・チケットセンター窓口</p> <p>■急な公演中止や払い戻し対応なども含め、業務の基準に従い適切に実施しました</p> <p>カ ドリンクコーナー</p> <p>□安全性の確保、よりよい顧客サービス提供のため、横浜ベイホテル東急支配人役との会議を含め、意見交換実施 年3回</p> <p>■ホールメールマガジン等で、季節メニューを紹介するなどPR協力を行い、売上アップにつなげました。</p> <p>キ 託児サービス</p> <p>■HPやコンサートカレンダー（年4回発行）、各公演チラシにも託児情報を掲載し、サービスの周知をはかりました。</p>
--	---	---

### (3) プロモーションの充実

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容と達成状況]
<p>ア 効率的・戦略的プロモーション</p> <p>●首都圏への情報発信</p> <p>●プレス懇談会実施によるメディアとの関係構築</p> <p>●各媒体との関係強化・情報発信力アップ</p> <p>●公開リハーサル・ロビーコンサート実施</p> <p>●コンサートカレンダーの発行</p>	<p>ア 効率的・戦略的プロモーション</p> <p>□交通広告等の出稿 年1回</p> <p>□プレス懇談会 年1回</p> <p>□各媒体への情報掲載 月間70件</p> <p>□公開リハーサル・ロビーコンサート実施 計2回</p> <p>□コンサートカレンダー 年4回</p> <p>年間コンサートカレンダー</p>	<p>ア 効率的・戦略的プロモーション</p> <p>□交通広告を実施（年1回）</p> <p>□プレス懇談会を実施（年1回）</p> <p>2/28実施、60名</p> <p>□各媒体への情報掲載（平均168件/月）</p> <p>□公開リハーサル実施（年4回）</p> <p>□ロビーコンサート実施（年1回）</p> <p>□コンサートカレンダー発行（年4回）</p> <p>5, 8, 11, 2月に、各15,000部発行</p>

<p>●友の会の活性化</p> <p>イ WEB を活用したプロモーション</p> <p>●ホームページでの情報発信</p> <p>●メールマガジンでの情報配信</p> <p>●ツイッターでの情報配信</p> <p>●チケットセンターWEBでのチケット販売促進</p>	<p>一年1回</p> <p>□ロイヤルティイベントの実施 年2回</p> <p>□講座（視聴ラウンジ等）の実施 年6回</p> <p>■ホームページへの会員専用サイト設置</p> <p>■WEB 利用者数 増加プロモーションの展開</p> <p>イ WEB を活用したプロモーション</p> <p>□HPトップページアクセス数 年間35万件</p> <p>□メールマガジン配信 月1回以上</p> <p>□メールマガジン登録7,500名</p> <p>□ツイッターでの発信 年間200ツイート</p> <p>□ツイッターフォロワー4,000件</p> <p>■チケットセンターWEB会員の専用特典サイトを作ります。</p>	<p>□年間コンサートカレンダー発行（年1回）</p> <p>□ロイヤルティイベントの実施 年3回</p> <p>□講座（視聴ラウンジ等）の実施 年8回</p> <p>■ホームページへの会員専用サイト設置 実施</p> <p>■WEB 利用者数 増加プロモーションの展開 実施</p> <p>イ WEB を活用したプロモーション</p> <p>□HPトップページアクセス数（364,815アクセス）</p> <p>□メールマガジン配信（月1回）12回実施（1月2回・2月配信無し）</p> <p>□メールマガジン登録数（11,415人）</p> <p>□ツイッターの発信（212ツイート）</p> <p>□フォロワー（5,606人）</p> <p>■チケットセンターWEB会員の専用特典サイトを作り、会員限定の特典を提供。</p>
--	--	---

(4) 条例の遵守

<p>[取組内容]</p> <p>ア 休館日</p> <p>●保守点検、定期整備や修繕のため、必要な施設点検日（休館日）を設定します。</p> <p>イ 開館時間</p> <p>●条例及び規則に基づく</p>	<p>達成指標]</p> <p>ア 休館日</p> <p>□安全面に配慮し、適正な休館日（30日）を確保します。10～12月のコンサートシーズンは、月1日の休館日とし利用ニーズに応えると共に、利用のない枠で保守を実施する等、柔軟に対応します。</p> <p>イ 開館時間</p> <p>□9：00～22：00</p>	<p>[実施内容と達成状況]</p> <p>ア 休館日</p> <p>□定例休館日について適正な休館日数を確保しました。また、舞台機構改修工事等に伴う休館日についても横浜市と調整の上、適切に設定しました。</p> <p>イ 開館時間</p> <p>□9：00～22：00</p>
--	--	---

設定 ●利用者の希望等、延長利用などに柔軟に対応します。	■早朝利用、深夜利用など可能な範囲で柔軟に対応します。	■早朝利用、深夜利用など可能な範囲で柔軟に対応しました。
ウ 利用料金等 ●条例に基づいた適切な料金徴収	ウ 利用料金等 ■条例に基づく適正な料金徴収を行います。	ウ 利用料金等 ■条例に基づく適正な料金徴収を行いました。
エ 貸出業務	エ 貸出業務 ■利用者ニーズに配慮し、条例・規則に基づいた貸出を実施します。 ■撮影等の利用についても柔軟に対応します。	エ 貸出業務 ■条例・規則に基づき、利用者ニーズに配慮した貸出を行いました。 ■企業紹介映像撮影（1件）のほか、テレビの音楽番組収録（1件）での利用を受け入れたほか、実際の撮影には至らなかったものの、撮影希望問合せや撮影下見希望にも柔軟に対応しました。
オ 留意事項	オ 留意事項 ■条例、規則に基づき、設置目的や利用者の安全等に配慮した貸出を実施します。	オ 留意事項 ■条例・規則に基づき、設置目的や利用者の安全等に配慮した貸出を行いました。

利用状況等について

施設名	29年度	
	稼働率	利用者人数
大ホール	96% (90%)	425,929人
小ホール	100% (90%)	91,778人
リハーサル室	70% (48%)	14,229人
音楽練習室	83%	20,220人
レセプションルーム	36%	7,764人
その他	—	4,047人
合計		563,967人

※稼働率：日にち単位（時間帯単位）



## 7 施設維持管理について

### (1) 快適な環境を維持するとともに、安全かつ安心して利用できる施設保全

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容と達成状況]
<p>ア 適切な管理</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●パイプオルガンやピアノの定期的メンテナンス実施</li> <li>●舞台・音響・照明の専門業者に舞台技術を委託</li> <li>●統括管理・設備管理・清掃管理を専門業者に委託し、相互の連携をはかる。</li> <li>●横浜市との連携による大規模修繕計画の策定</li> <li>●QSY管理組合や横浜市と連動した危機管理の実施</li> <li>●過失事故の防止</li> </ul> <p>イ 施設維持管理業務</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●QSY管理組合事務局会議、管理打合せ等に参加し、周辺との連携をはかります。</li> </ul>	<p>ア 適切な管理</p> <p>□定期メンテナンス</p> <p>年1回</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・パイプオルガン 年1回</li> <li>・コンサートピアノ 年1回</li> <li>・練習室ピアノ 年12回</li> <li>・リハーサル室ピアノ 年1回</li> </ul> <p>・楽屋ピアノ 年3回</p> <p>■設備不具合や要清掃箇所など日々の連携をはかるとともに、連絡票等での対応チェックを行います。</p> <p>■専門業者への委託による専門知識を活用し、修繕時期の決定、省エネ提案などに反映させます。</p> <p>■休館日設定や、予算面などの情報交換を密にはかり、大規模修繕計画を進めます。</p> <p>□過失事故0件</p> <p>イ 施設維持管理業務</p> <p>■会議への参加、必要事項を施設内に周知</p>	<p>ア 適切な管理</p> <p>□定期メンテナンス</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・パイプオルガン保守：1/9-12</li> <li>・コンサートグランドピアノ保守点検 スタインウェイ1号機：8/16・17 スタインウェイ5号機：2/1・2 スタインウェイ6,7号機：2/12・13、3/26・27 ヤマハCFX：8/16・17 ベーゼンドルファー：1/18・19</li> <li>・練習室ピアノ：毎月実施（年12回）</li> <li>・リハーサル室ピアノ： スタインウェイ3号機：8/16・17</li> <li>・楽屋ピアノ：7、10、2月実施（年3回）</li> </ul> <p>■業務連絡票での情報伝達等、設備不具合や要清掃箇所について情報を共有し、適切に対応しました。</p> <p>■専門業者への委託による専門知識を活用し、修繕に対応し、光熱水費の提言に反映させました。</p> <p>■横浜市と休館日設定や、予算面などの情報交換を密にはかり、舞台機構改修工事など適切に対応しました。</p> <p>□過失事故0件</p> <p>イ 施設維持管理業務</p> <p>■QSY管理組合会議への参加</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月の管理組合会議・電気連絡会に参加</li> </ul>

<p>●設備関係の点検・定期整備業務</p>	<p>■点検・定期整備事項について、年間計画作成・実施</p>	<p>■年間計画作成・実施</p>
	<p>□客席保守点検:大小ホールとも 年2回</p>	<p>□客席保守点検:年2回実施 ・大ホール 年2回実施 ・小ホール 年2回実施</p>
<p>●舞台関係の点検・定期整備業務</p>	<p>□舞台照明定期保守 年3回</p>	<p>□舞台照明定期保守 年3回実施 5/22・6/12、9/4・9/25、2/26・3/12</p>
	<p>□舞台音響定期保守 年2回</p>	<p>□舞台音響定期保守 年2回実施 8/14-16、2/5-7</p>
	<p>□舞台機構定期保守 年3回</p>	<p>□舞台機構定期保守 年3回実施 6/26、11/20、3/19</p>
<p>●設備・舞台スタッフとの小破修繕にかかる情報交換</p>		<p>■設備・舞台スタッフと情報交換し、老朽化した温水ポンプインバータの交換、継続的に異音が発生する副電気室空調室外機の修繕等、適切に小破修繕に対応しました。また、副電気室漏電検出装置交換工（発注金額税込60万円超）について安全性確保の観点から指定管理者負担にて実施しました。</p>
<p>ウ 環境維持管理業務</p>	<p>ウ 環境維持管理業務</p>	<p>ウ 環境維持管理業務</p>
<p>●法令等に基づき、適正な施設維持管理に努めます。空気環境測定・清掃等の仕様を定めて建築衛生環境を維持管理します。</p>	<p>□空気環境測定 年6回 □照度測定 年2回</p>	<p>□空気環境測定 年6回実施 □照度測定 年2回実施</p>
	<p>■ごみ分別の徹底</p>	<p>■ごみ分別は日常的に実施しています。</p>
<p>エ 保安警備業務</p>	<p>エ 保安警備業務</p>	<p>エ 保安警備業務</p>
<p>●業務の基準に基づき保安警備業務を適切に行います。</p>	<p>□過失事故0件</p>	<p>□過失事故0件</p>
<p>オ 駐車場・搬入口管理業務</p>	<p>オ 駐車場・搬入口管理業務</p>	<p>オ 駐車場・搬入口管理業務</p>
<p>●業務の基準に基づき駐車場御利用者等の安全確保に努めます。一般歩道に面した搬入口での</p>	<p>□過失事故0件</p>	<p>□過失事故0件</p>

<p>搬出入には警備員が立ち会います。</p> <p>カ 6階屋上庭園の取り扱い</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●植栽の手入れを、統括管理業者を通じて専門業者に委託します。</li> <li>●植栽や屋上の劣化状況を把握し、横浜市と共有します。</li> <li>●劣化が進行しているウッドデッキの安全確認を配慮します。</li> </ul> <p>キ 防災等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●業務の基準に基づき、防火防災に努めます。</li> </ul> <p>ク 緊急時の対応</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●防災マニュアル、危機管理マニュアル</li> <li>●救急要請、事故報告</li> </ul> <p>ケ 有資格者の配置</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●電気主任技術者</li> <li>●建築物環境衛生管理技術者</li> <li>●ボイラー技師</li> <li>●無線従事者</li> </ul>	<p>カ 6階屋上庭園の取り扱い</p> <p>□植栽手入れ 年5回</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■日々の状況把握に努めます。</li> </ul> <p>キ 防災等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■QSY 防火防災管理協議会に参加し、地域全体の防災関連情報を共有します。</li> </ul> <p>□防災管理自主点検 年2回</p> <p>□防災設備点検 年1回</p> <p>□消防訓練・防災訓練 年2回</p> <p>ク 緊急時の対応</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■施設内で周知します。</li> <li>■緊急時の救急要請、事故報告を速やかに行うとともに、スタッフへの周知を徹底します。</li> </ul> <p>ケ 有資格者の配置</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■QSY 管理組合の電気主任技術者をもって配置にかえます。</li> <li>■管理センターに技術者を設定（ボイラー含む）</li> </ul>	<p>カ 6階屋上庭園の取り扱い</p> <p>□植栽手入れ 年5回実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ウッドデッキの安全確認</li> <li>・経年劣化による庭園外周部分のぐらつき発生への応急対応、小さな窪みのパテ埋め等、安全対策を行いました。</li> <li>・夏季に発生した害虫発生について、横浜市と調整の上、駆除を行いました。</li> </ul> <p>キ 防災等</p> <p>□防災管理自主点検 年2回</p> <p>□防災設備点検 年1回</p> <p>□消防訓練・防災訓練 年2回</p> <p>ク 緊急時の対応</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■適切に対応しました。</li> <li>■AED機器設置場所について、急病人発生の実例を踏まえて、より効率的に使用できる場所に変更しました。</li> </ul> <p>ケ 有資格者の配置</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■電気主任技術者：1名配置</li> <li>■管理センターに配置</li> </ul>
---	--	---

<p>●甲種防火管理者及び防災管理者</p> <p>コ 条例で定める業務以外で施設を使用する場合</p> <p>●条例及び規則に基づき、利用申請について審査し、適正な手続きを行います。</p>	<p>□無線従事者 2名配置</p> <p>□防火・防災管理者 職員1名配置</p> <p>コ 条例で定める業務以外で施設を使用する場合</p> <p>■事例が発生する場合、速やかに手続きを行います。</p>	<p>□無線従事者：2名配置</p> <p>□防火・防災管理者：1名配置</p> <p>コ 条例で定める業務以外で施設を使用する場合</p> <p>■条例及び規則に基づいた適正な手続きを実施しました。</p>
--	--	--

## 8 その他の業務について

### (1) 政策協働型指定管理を推進し、横浜市の専門文化施設としての最適な管理運営の実現

<p>[取組内容]</p> <p>ア 政策経営協議会</p> <p>●政策経営協議会を開催します。</p> <p>イ 計画策定及び業務報告</p> <p>●モニタリングを実施します。</p> <p>●政策経営協議会での協議に基づき、政策や社会情勢を反映した、効果的に年間業務計画を策定します。</p> <p>ウ 業務評価</p> <p>●PDCA サイクルを徹底し、各評価の結果を政策経営協議会等で検討し、今後の運営に反映させます。</p>	<p>[取組内容]</p> <p>ア 政策経営協議会</p> <p>●政策経営協議会を開催します。</p> <p>イ 計画策定及び業務報告</p> <p>●モニタリングを実施します。</p> <p>●政策経営協議会での協議に基づき、政策や社会情勢を反映した、効果的に年間業務計画を策定します。</p> <p>ウ 業務評価</p> <p>●PDCA サイクルを徹底し、各評価の結果を政策経営協議会等で検討し、今後の運営に反映させます。</p>	<p>[実施内容と達成状況]</p> <p>ア 政策経営協議会</p> <p>□年間2回開催しました。</p> <p>イ 計画策定及び業務報告</p> <p>□定期的にモニタリングを実施しました。</p> <p>■モニタリング時の情報交換を密にし、次年度の計画にも反映させました。</p> <p>■第3期中期事業計画(平成30年度～33年度)について、横浜市との綿密に調整しながら作成しました。</p> <p>ウ 業務評価</p> <p>■指定管理者選定評価委員会による外部評価、業務視察・ヒアリングにそれぞれ適切に対応しました。</p>
--	--	---

(2) 収支について

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容と達成状況]
<p>ア 収入(収入向上及び外部資金導入の努力)</p> <p>●ファンドレイジング活動に取り組みます。</p> <p>イ 支出(適切な支出配分、コスト削減への努力)</p> <p>●サービス低下につながらないように配慮した省エネルギー化やコスト削減を検討します。</p>	<p>ア 収入</p> <p>□企業協賛金・助成金獲得 合計 31,700 千円 (協賛金 8,100 千円、助成金 23,600 千円)</p> <p>イ 支出</p> <p>■管理センターと連携し、快適な利用環境とエネルギー消費最小化の両立に努め、光熱費を抑制します。</p> <p>■廃棄物の発生量削減に努め、廃棄に要するコスト削減につなげます。</p>	<p>ア 収入</p> <p>□企業協賛金・助成金獲得 7,480千円 文化庁芸術振興費補助金 16,500千円</p> <p>企業協賛金の減額については、業務計画立案後に、継続的な協賛社より協賛金減額の申し入れがあったため事業計画目標に届きませんでした。</p> <p>助成金は申請額満額の採用に至りませんでした。</p> <p>イ 支出</p> <p>■利用率、来場者数等、光熱費を増加させる要素がそれぞれ上昇しました。またエネルギー単価についても資源価格の持ち直し等により前年度より上昇しました。このような状況下でも快適性と省エネルギーの両立に努め、光熱費については予算内での執行に留めることができました。</p>

9 組織について

(1) 組織について

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容と達成状況]
<p>ア 明確な責任体制の構築</p> <p>●新たな組織図及びグループ毎の業務分担表作成</p> <p>●組織内意思決定</p> <p>イ 専門人材の確保と高い専門性を発揮できる組織</p> <p>●事業、運営、施設維持管理等施設全体を管理運営するために必要な人</p>	<p>ア 明確な責任体制の構築</p> <p>■グループ長会議を毎週開催してホール運営にかかる方針を決定、議案を決裁します。企画運営会議を毎週開催して共有、円滑に執行します。</p> <p>イ 専門人材の確保と高い専門性を発揮できる組織</p> <p>■各専門性に応じた適正な人員配置を行います。</p>	<p>ア 明確な責任体制の構築</p> <p>■グループ長会議、企画運営会議をそれぞれ毎週開催し、意思決定・情報共有を行いました。</p> <p>イ 専門人材の確保と高い専門性を発揮できる組織</p> <p>■数多くの貸館利用者の数年にわたる定期的な利用や実績などを踏まえて施設利用調整をおこなえる人材や、事業の企画制作の人材、友の会運</p>

材と人員を確保し、より高い専門性を発揮できる組織づくりに努めます。

	人数	備考
館長	1名	非常勤
総支配人	1名	兼務/財団理事
総支配人補佐	1名	課長級
グループ長	2名	課長級 事業1 経営1
チームリーダー	4名	係長級 事業2 経営2
担当リーダー	3名	経営3
職員	8名	事業3 経営5
アルバイト	6名	事業1 経営5
レセプション	95名	

■ゲストプロデューサー 1名配置

■事務室勤務体制はシフト制とし、主催事業やホール利用状況に応じて出勤職員及び人数を決定します。

A勤務(8:45-17:30)

最少3名

B勤務(10:00-18:45)

状況による

C勤務(13:15-22:00)

最少3名

営やチケットセンター運営などにキャリアを積んだ人材など、各専門性に応じた人員配置を実施し、専門性を発揮できる組織づくりに努めました。

	人数	備考
館長	1名	非常勤
総支配人	1名	兼務/財団理事
総支配人補佐	1名	課長級
グループ長	2名	課長級 事業1 経営1
チームリーダー	4名	係長級 事業2 経営2
担当リーダー	3名	経営3
職員	8名	事業3 経営5
アルバイト	6名	事業1 経営5
レセプション	95名	

■ゲストプロデューサー 1名配置

■主催事業やホール利用状況に応じて出勤職員及び人数を決定しました。

(2) 人材育成

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容と達成状況]
<p>施設における組織力の向上のため、人材育成に取り組めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●MBOによるOJTを積極的に実施し、人材育成のツールとして積極的に活用します。</li> <li>●ホール独自の研修として、レセプション研修、職員への個人情報研修等を実施します。</li> <li>●事務局研修への参加</li> </ul>	<p>■MBOの目標設定、中間・期末評価において、各自の業務の進行確認を推進し、評価のフィードバックを適切に行います。</p> <p>■レセプション研修：6（1）参照</p> <p>・新規配属職員への個人情報保護研修（年1回実施）</p> <p>■事務局研修に積極的に参加できる体制をつくりま</p>	<p>■OJT及びMBOによる中間・期末の面談を計画的に実施しました。</p> <p>■レセプション研修：6（1）参照</p> <p>■新規配属職員を対象に、ホール内の情報管理状況を踏まえた個人情報保護研修を実施しました。</p> <p>■事務局で開催した研修に、対象職員全員が参加しました。</p>

10 留意事項

(1) 保険および損害賠償の取り扱い

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容と達成状況]
<ul style="list-style-type: none"> <li>●施設賠償責任者保険、動産総合保険、レジャーサービス費用保険</li> </ul>	<p>■各種保険に加入し、保険対応が必要な案件があった場合は、速やかに対応します。</p>	<p>■定められた内容で各種保険に加入し、迅速かつ適切に対応しました。</p>

(2) 法令の遵守と個人情報保護

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容と達成状況]
<ul style="list-style-type: none"> <li>●公の施設の管理者として法令を遵守し、適正な個人情報の取扱いを推進します。</li> <li>●「マイナンバー制度」導入に伴い、事務取扱い手順を徹底し事故防止に努めます。</li> </ul>	<p>■個人情報取扱いマニュアルの周知徹底</p> <p>■マイナンバー制度事務取扱い手順の徹底</p>	<p>■個人情報取扱いマニュアルを配布し、周知徹底しました。また、新配属者に対する個人情報取り扱いに関する研修を実施しました。</p> <p>■マイナンバー制度事務取扱い手順の講習会を行い、手順を徹底しました。</p>

(3) 情報公開

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容と達成状況]
●公の施設の管理者として、説明責任を果たす観点から、情報公開に対し積極的に取り組みます。	■横浜市、財団事務局との連携をはかり、情報公開を行います。	■横浜市、財団事務局との連携により、情報公開の体制は整っていますが、29年度の情報公開請求はありませんでした。

(4) 市および関係機関等との連絡調整

取組内容]	[達成指標]	[実施内容と達成状況]
●横浜市や関連機関との連絡を密にし、情報を共有します。	■政策経営協議会や関係機関との会議はもちろん、日頃の連携をはかり、報告等速やかに行います。	■日頃から横浜市との連携をはかり、報告事項が発生した際は、速やかに対応しました。



## 平成29年度 「横浜みなとみらいホール」 収支予算書及び報告書

## 収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	486,521,000		486,521,000	486,521,000	0	横浜市より
利用料金収入	208,000,000		208,000,000	222,508,237	△ 14,508,237	
自主事業（指定管理料充当の自主事業）収入	19,018,000		19,018,000	19,384,686	△ 366,686	心の教育ふれあいコンサート
自主事業収入	132,483,000		132,483,000	108,735,996	23,747,004	
横浜芸術アクション事業市負担	15,000,000		15,000,000	15,000,000	0	
助成金	31,700,000		31,700,000	23,980,000	7,720,000	
雑入	7,615,000	0	7,615,000	19,751,565	△ 12,136,565	
印刷代	100,000		100,000	53,380	46,620	
自動販売機手数料	900,000		900,000	786,536	113,464	
その他（ゴミ処理代など）	6,615,000		6,615,000	6,033,649	581,351	
本部繰入金収入	0		0	12,878,000	△ 12,878,000	財団繰越金からの繰入収入
<b>収入合計</b>	<b>900,337,000</b>	<b>0</b>	<b>900,337,000</b>	<b>895,881,484</b>	<b>4,455,516</b>	

## 支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
<b>人件費</b>	<b>240,473,000</b>	<b>0</b>	<b>240,473,000</b>	<b>255,457,416</b>	<b>△ 14,984,416</b>	
給与・賃金	197,131,000		197,131,000	203,784,293	△ 6,653,293	
社会保険料	20,478,000		20,478,000	23,317,099	△ 2,839,099	
通勤手当	15,504,000		15,504,000	14,984,796	519,204	
健康診断費	110,000		110,000	129,521	△ 19,521	
勤労者福祉共済掛金	150,000		150,000	109,500	40,500	
退職給付引当金繰入額	7,100,000		7,100,000	13,132,207	△ 6,032,207	
<b>事務費</b>	<b>59,534,000</b>	<b>0</b>	<b>59,534,000</b>	<b>55,823,376</b>	<b>3,710,624</b>	
旅費	600,000		600,000	678,469	△ 78,469	
消耗品費	6,859,000		6,859,000	6,166,670	692,330	
会議ठी費	80,000		80,000	46,887	33,113	
印刷製本費	2,685,000		2,685,000	1,023,408	1,661,592	経費執行の見直し
通信費	1,650,000		1,650,000	1,231,876	418,124	
使用料及び賃借料	7,783,000	0	7,783,000	8,254,671	△ 471,671	
横浜市への支払分	230,000		230,000	244,684	△ 14,684	
その他	7,553,000		7,553,000	8,009,987	△ 456,987	
備品購入費	1,000,000		1,000,000	1,578,531	△ 578,531	手摺付階段(舞台用)購入等
図書購入費	0		0	0	0	
施設賠償責任保険	220,000		220,000	171,580	48,420	
委託費	32,886,000		32,886,000	30,913,842	1,972,158	椅子保守、建築物点検、その他委託業務
職員等研修費	0		0	5,000	△ 5,000	
振込手数料	400,000		400,000	485,136	△ 85,136	
リース料	3,537,000		3,537,000	3,428,682	108,318	
手数料	1,219,000		1,219,000	1,333,976	△ 114,976	
地域協力費	615,000		615,000	504,648	110,352	
<b>事業費</b>	<b>206,686,000</b>	<b>0</b>	<b>206,686,000</b>	<b>208,054,593</b>	<b>△ 1,368,593</b>	
自主事業（指定管理料充当の自主事業）費	23,818,000		23,818,000	22,198,002	1,619,998	心の教育ふれあいコンサート
自主事業費	182,868,000		182,868,000	185,856,591	△ 2,988,591	
<b>管理費</b>	<b>316,047,000</b>	<b>0</b>	<b>316,047,000</b>	<b>318,140,440</b>	<b>△ 2,093,440</b>	
光熱水費	113,000,000	0	113,000,000	112,296,715	703,285	
電気料金	34,465,000		34,465,000	32,110,814	2,354,186	
冷温水料金	64,636,000		64,636,000	65,749,348	△ 1,113,348	
水道料金	13,899,000		13,899,000	14,436,553	△ 537,553	
清掃費			0	0	0	
修繕費	2,512,000		2,512,000	5,954,281	△ 3,442,281	電気室漏電検出装置交換、温水ポンプインバーター交換、副電気室空調機修繕等
機械警備費			0	0	0	
設備保全費	178,579,000	0	178,579,000	177,933,500	645,500	
空調衛生設備保守			0	0	0	
消防設備保守			0	0	0	
電気設備保守	1,800,000		1,800,000	1,641,600	158,400	
建物管理費	100,530,000		100,530,000	99,973,296	556,704	QSY共通システム保守委託費減
その他委託費	71,196,000		71,196,000	71,074,440	121,560	警備業務、舞台業務
その他保全費	5,053,000		5,053,000	5,244,164	△ 191,164	楽器保守
共益費	21,956,000		21,956,000	21,955,944	56	QSY負担金、MM21負担金
<b>公租公課</b>	<b>16,698,000</b>	<b>0</b>	<b>16,698,000</b>	<b>18,273,247</b>	<b>△ 1,575,247</b>	
事業所税	0		0	0	0	
消費税	16,556,000		16,556,000	18,132,400	△ 1,576,400	
印紙税	74,000		74,000	100,800	△ 26,800	
その他（法人税など）	68,000		68,000	40,047	27,953	電波使用料
<b>事務経費（計算根拠を説明欄に記載）</b>	<b>60,899,000</b>	<b>0</b>	<b>60,899,000</b>	<b>60,899,000</b>	<b>0</b>	
本部分	60,899,000		60,899,000	60,899,000	0	(平成28年度予算額 - 事務局繰入金) × 7%
当該施設分	0		0	0	0	
<b>支出合計</b>	<b>900,337,000</b>	<b>0</b>	<b>900,337,000</b>	<b>916,648,072</b>	<b>△ 16,311,072</b>	
<b>差引</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>△ 20,766,588</b>	<b>20,766,588</b>	